

令和7年度地域力向上ミーティング

地区	番号	質問	回答 ※特に記載がない場合の回答者は市長	担当部署	分野1	分野2	備考
後閑	1	合併20周年記念に関する市の企画を教えてほしい。	来年3月22日に記念式典を文化センターで行う。今年度は記念事業対象期間として、4月にNHKのど自慢を51年ぶりに本市で行った。5月の安政遠足侍マラソン、6月のラリー選手権モントレー、10月のヒルクライムも位置付けている。 また、原市出身のプロレスラー、安齊勇馬さんを呼んでスポーツセンターで大会も検討中。1月17日に出張なんでも鑑定団も行う。3月28日に峠の湯近くで、G-FREAK FACTORYの茂木さんを中心に音楽フェス開催も決定している。 新安中かるたも制作中で、後閑地区では後閑城が入っている。絵札は市内中学校の美術部に描いてもらった。	政策・デジタル推進課	市政運営		【政策・デジタル推進課】 詳細は市ホームページに掲載しています。 https://www.city.annaka.lg.jp/page/19370.html
後閑	2	人口減少が進む中、他自治体では上水道の民営化や広域連携でやっているところもある。今後、安中市はどうか。	当面は市営でやっていく、老朽化は進んでいるが、ここ30年くらい使用料を上げていない。何とか上げないで、施設の長寿命化を図っていく。 工業団地に入りたいという企業もあるので、きれいな水を安定供給できるよう努力したい。	上水道事務課	水道関係		【上水道事務課】 官民連携につきましては、水道事業は市民の皆様の暮らしを支える重要な公共サービスであるとの認識のもと、今後も公営での事業運営を行ってまいります。 また、広域連携につきましては、持続可能な水道事業の経営を図っていくために、県や近隣市町村と今後も協力して事業を進めてまいります。
後閑	3	防災士資格の取得を検討している。市の取得費支援に何か条件はあるか。	特に制限はない。誰でも土日2日の講習を受ければ取得できる。年2回ほど県主催で講習があるが、今年の枠は埋まっているので、来年取得していただきたい。担当は市危機管理課。	危機管理課	災害対策		
後閑	4	後閑の長源寺、北野寺、後閑城など歴史上重要な地元の名跡をもっと学校の教材として取り上げてほしい。	地元の歴史を知らない人は多い。後閑にも良いものがたくさんあるので、もっと郷土学習に取り組めるようにしたい。 【教育長】 「私たちの安中」は小学3年で学んでいる。数年に一度見直し、新しい記述を足している。二次元コードも付けて、学校のタブレット授業で使えるようにしている。郷土学習については、今年度から市内の全小中学校で「ふるさと安中みらい学」という総合学習を9年間のカリキュラムで学べるよう検討を始めた。地域の全てを取り上げるのは難しいが、子どもにも大人にももっと安中を知り、好きになってもらえるよう取り組んでいる。	学校教育課 生涯学習課	教育関係		【学校教育課】 小学校3年生の社会科では、「わたしたちの安中」という副教材を使用し、安中市について学習をしている。また、市内小中学校では、今年度より「ふるさと安中」に誇りと愛情をもち、自分の生き方にについて考える力を育成する「ふるさと安中みらい学」に取組んでいる。地域教材のすべてを取り上げることは難しいが、安中にについて知り、安中のために考え、行動できる子供たちを育てていきたいと考えている。 【生涯学習課】 現在制作を進めている郷土かるた(令和安中かるた)で後閑地区では後閑城址を題材としている。

令和7年度地域力向上ミーティング

地区	番号	質問	回答 ※特に記載がない場合の回答者は市長	担当部署	分野1	分野2	備考
後閑	5	スポーツ面で、グリーンヒルテニスアカデミーの小板橋さんは車いすテニス国枝選手のピッティングパートナーなどをつとめていたし、後閑の鬼形さんは自転車競技で有名。また、3年後の国スポを見据え、安総高・松井田高にアーチェリーパー部ができれば、これらと市が連携し何かできればよいと思う。	(車いす)テニスや自転車は今後、プロスポーツアカデミー事業できるか検討していきたい。アーチェリーは昔、安総高に部があったが廃部になった。2029年の国スポは陸上競技場で行う予定なので、アーチェリーをできる場所が増えていけばよいと考えている。	スポーツ課	その他		
後閑	6	公共交通の見直しについて、後閑～碓氷病院間がなくなり、今後はAI新交通を利用することになると思うが、料金は現状より高くなるのか。	碓氷病院に行く路線はなくなるが、乗合タクシーが300円で利用できる。これまでより若干高くなるが、電話などで指定した時間に予約できるので利便性は上がると思う。	都市計画課	公共交通		
後閑	7	高齢者サポートのごみ出し支援は現在80歳以上が対象で、いつ75歳以上に引き下げるのか。	12月から75歳以上に引き下げる予定。上限200世帯だが現在58世帯利用なのでまだ空きがある。	高齢者支援課 環境政策課	環境関係		
後閑	8	高齢者サポートのごみ出し支援の収集日はいつか。	月木・火金曜で大体方向を決め、軽トラで週1回回収する。指定のボックス購入に3,000円かかるが、勝手に回収されたなどのトラブルを防ぐため、ご理解いただきたい。	高齢者支援課 環境政策課	環境関係		【環境政策課】 現在は火・木・金曜日の週3回で、中学校区に分けて、ごみ収集しておりますが、今後、利用者が増えれば、月・水曜日の収集を行う予定です。
後閑	9	安中市は県内有数の養蚕が盛んだった地域。また、碓氷製糸も国内の8割近い生糸生産を担っていることを知らない人も多い。碓氷峠鉄道遺産群が大事なのはもちろんだが、「みらい学」や安中かるたの中に養蚕・生糸関係を取り上げてほしい。	現在市内の養蚕農家は4軒しかない。来年には国内の大規模製糸工場は碓氷製糸だけになる見込み。養蚕・製糸の灯を消さないため、近々、市内養蚕農家との懇談会を検討している。何とか蚕糸業が増えていくような取り組みをしたい。 【教育長】 新しい安中かるたには碓氷製糸が入っている。また養蚕信仰という点では咲前神社も入っている。少し前には、伊勢神宮の式年遷宮に使う生糸を碓氷製糸がつくるということで、ニュースにもなった。本当に貴重な産業なので、「みらい学」を進めるうえで子どもたちに知ってもらいたい。	農林課 商工課	農業振興	商工業振興	
後閑	10	長野県岡谷市に、市が整備した宮坂製糸工場というきれいなミュージアムがある。実際に糸繰りをする様子を見られるようになっている。安中市の養蚕農家が4軒という話があつたが、長野県は3軒らしい。財政的に難しいかもしれないが、安中市もこのような施設を作れたらよいと思う。	岡谷市もかなり養蚕が盛んだったと思う。県内も養蚕農家が減り、今100軒くらい。少ない中でも本県は頑張っている方なので、何とか支えられれば。碓氷製糸は見学ツアーもやっている。実際見るとすごいので、色々な人に見てもらいたい。桐生と安中で何か養蚕・製糸関係で連携をしていきたい。桐生の子どもたちに碓氷製糸を見てもらうとか。世界遺産については、長野県と組みたいと考えている。経済圏だけではなく、本県と長野で広い範囲で一緒に何かできれば可能性も高まるのではないか。	農林課 商工課	農業振興	商工業振興	